



発行元

「島根県西部発達障害者支援センターウインド」
 〒697-0005 島根県浜田市上府町イ2589
 TEL: 0855-28-0208 FAX:0855-28-0217
 E-mail: wind1841@rhythm.ocn.ne.jp
 URL: <http://iwami-wind.org/>

『春』と言えば……お花見やポカポカした暖かく過ごしやすい季節。卒業や入学、別れと出会いなど、いろいろなことがあり、新しく始まる時期と感じています。変わる事、変わらないことがあります。気持ちの切り替えや新しく何かチャレンジするには良い時期だと思います。ウインドスタッフ一同、今年度も頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

□ウインド医療相談

*専門の医師をお招きして医療相談を実施しています。診断・投薬はできませんが、医療に関わる心配事など気軽に相談できます。【お一人当たり1時間の予約制】

*事前にスタッフが相談内容をお聞きし、当日も同席させていただき、その後の支援に繋げていきます。

日時	場所	担当医
5月16日(木) 13:00~16:00	ウインド	西部島根医療福祉センター 大野 貴子 先生
7月 3日(水) 13:45~16:45	ウインド	美都診療所 安藤 幸典 先生

※医療相談の利用は、ウインドホームページ(医療相談)をご確認ください。(空き状況が確認できます)

□島根県自閉症協会 地区部会

島根県自閉症協会さんの各地区の勉強会にウインドのスタッフも参加しております。

初めて参加される方は、日程や場所が変更になる場合がありますので、事前にウインドのスタッフまでお問い合わせ下さい。

地区	時間	場所	開催日
大田	10:00~12:00	仁万まちづくりセンター	4/3(水)、5/1(水)、6/5(水)、7/3(水)
邑智	14:00~16:00	元気館(和室)	5/14(火)、7/9(火)
江津	9:30~11:30	嘉久志コミュニティーセンター	4/18(木)、5/16(木)、6/20(木)、7/18(木)
浜田	9:30~11:30	いわみーる視聴覚室	4/11(木)、5/9(木)、6/6(木)、7/4(木)
益田	10:00~12:00	ウインド益田相談室	4/25(木)、5/23(木)、6/27(木)、7/25(木)
吉賀	10:30~12:00	よしかの里	7/19(金)
津和野	10:30~12:00	はなみずき	5/28(火)



□ペアレントメンター“ひとコメ”ペンリレー



“ペアレントメンター”とは…

発達障がいの子育て経験を活かして、他の保護者さんのよき相談相手となるよう、ペアレントメンター養成研修を受講、修了した先輩保護者さん方です。島根県西部地区で活動されているメンターさんをペンリレー方式で紹介します。

“職場つながり”の向田さんよりバトンを受け取った、浜田市在住の山平聖子です。

私がメンターになろうと思ったきっかけは、保育園やご近所のママ友と共感し合える育児体験が少なく、『育て方じゃ?』と我が子には通用しない育児方法をアドバイスされたり、難しさを分かってもらえないしんどさで悩んでいる時、先輩メンターさんに出会い『わかる〜一緒!』『頑張ってるね〜』と共感してもらえた事で一気に気持ちがスッキリした事でした。人前に立つのは苦手だけど、同じ様に後輩ママさんの話を『うんうん』って聞いてあげる事位なら私にも出来る!と思い今に至ります。共感し合えるっていいですよね♪

次は“職場つながり”の白川英代さんです。よろしくお願ひします。

□当事者の声(作品紹介)コーナー

●今回は、真蛇(しんじゃ)さんの作品です。

子どもの頃から絵を描くことが好きでした。現在も仕事をしながらいろいろなイラストを描いています。

ちなみに金魚の絵は、エンピツで下書きをしてから、スマホを使い、色付けした絵です。

般若



昔から馴染みのある“石見神楽”の鬼の面からインスピレーションを受け、この作品ができました。

風鈴



夏の昼に窓を開けた時に鳴る風鈴を見て、描いてみたいなと思い、描いてみることにした作品です。

金魚



夏をテーマにして何を描こうかと…「海」「かき氷」「花火」など、いろいろなテーマを出していった結果、「金魚」を描くことにしました。

【作品募集】

当事者の方の作品(イラストや詩など)がありましたら、ウインドまで、ご連絡下さい。年4回発行している機関紙にて、ご紹介させていただきます。



『保育士・幼稚園教諭専門研修』

保育士・幼稚園教諭研修は、発達障がい地域啓発セミナー2023の講師にお招きしました NPO 法人えじそんくらぶ代表の高山恵子 氏に「発達が気になる子の理解と支援～安全基地としての親をサポートする3つのヒント～」のテーマでご講演いただきました。

令和4年度のセミナーを動画配信させていただいたところ、大変好評でしたので、多くの保育士や幼稚園教諭の先生方にご視聴いただければと思いました。今回は動画配信とさせていただいたところ、242 名の方からの申し込みと延べ408回の視聴がありました。

【参加者より】

- *日本式セルフエスティーム(自己肯定感)の高め方についてお話された時、高山先生の言葉で「苦手なことは誰かに助けてもらって得意なことは2倍やる」「時差のギブ&テイク(ギブ&テイクは同時じゃなくていい)」という言葉が、胸に残りました。
- *的確な支援をするためには、特性の理解が必要で、このような研修を受け、常に知識を深めることが大切だと思った。子どもが、安心して過ごせるように、自分自身も無理せずに、安定した情緒で過ごしていきたいと思った。
- *保護者が感覚過敏で、抱っこなどのスキンシップを心地良いと感じない人がいるということは初めて聞いて驚きました。親子でのスキンシップを勧めることが必ずしも正しいアドバイスではないのだ、ということが分かりました。また自分の育児を通しては、我が子に対して、褒めることが少なかったり、出来たのにさらに上を目指すことばかり考えさせることが多かったのではないかと、反省しました。

こころに残ったキーワード

- *周囲の理解と支援で子どもの人生が変わる!
- *アタッチメント、セルフエスティーム、褒めなくても高まる、入らないアドバイスはしない方がいい。
- *子どもの特性を理解する=子どもに合わせた声かけ、支援が出来るということ。
- *良い所をほめることだけでなく、「ありがとう」を言ってもらう体験が、セルフエスティームを高めることにつながる。
- *安心感の輪、途中を褒める、指示は省略しない、わかる指示を出す。
- *周囲の理解と支援で子どもの人生が変わる!

【ウインドスタッフより】

今回の研修では保護者支援についても沢山お話いただきました。「保護者さんの話を傾聴すること」「しているようで実は難しい…」等日々の自分も振り返りながらお話を聞かせていただきました。また、マズローの欲求の階層の一番大事な基礎となる睡眠を子どもたち、保護者さんにもお伝えしていますが、支援者である先生方、支援する者皆が整えてセルフケアをしながら日々の生活、お仕事をすることを大切にしましょうね(*^-^*)睡眠とれていますか？ おいしいもの食べてますか？ 自分の好きなことしてますか？

沢山の皆さまにご視聴いただき、アンケートもいただきました。ありがとうございました。



□ウインド研修報告

1月20日(土)、21日(日)にパレットごうつにて開催しました『島根県発達障がい者就労支援研修』と2月10日(土)～2月29日(木)の間にYouTube 配信をしました『保育士・幼稚園教諭専門研修』のご報告を致します。多くの方にご参加、ご視聴いただきましたので、参加者の声を機関紙をご覧になれる方も共有できればと思います。

『島根県発達障がい者就労支援研修』

島根県発達障がい者就労研修は、島根県内発達障がい者の就労支援に携わる支援者等を対象に「大人の発達障がい～働く場面における理解と対応」のテーマで、基礎講座(1日目)、実践講座(2日目)を開催致しました。

講師には、静岡県東部発達障害者支援センターアスタ発達支援コーディネーター 西村浩二 氏と NPO 法人東松山障害者就労支援センター代表理事 若尾勝己 氏をお招き致しました。基礎講座では、発達障がいと関連する認知特性や支援・雇用現場の現状と課題、映像を通しての事例検討、実践講座では作業場面における行動観察、面談技術を学ぶことができました。

【参加者より】

- *いろいろな気付きがあった、すぐに医療ではなく、本人の意見を聞いたり、周りの環境を整えることも大切だと感じた。職場全体に伝えたり研修をすることも大事だと思いました。
- *心理的安全性は雇用管理や虐待などの他の研修でも取り上げられていたので、色々なことに通じる大事な視点なのだった。
- *問題点の背景には何があるのか考える必要があると感じた。
- *仕事をする上で起こっている問題点、困っている事実に着目する「事例性」を考える支援が大切なことを知ることができました。職場(事業所)でできる事、専門家につなげゆだねるべきことの見極めも大切と感じました。
- *障がいについて詳しくないので、考えさせられ、とてもためになる研修でした。色んな考え方があり、障がいに関係なく、コミュニケーションがいかに大切かと言うことも改めて気付かされました。これからの業務に活かしていきたいと思います。
- *「仕事ができないこと=障がい原因だから受診した方がよい」ともっていつてしまいがちでしたが、事例性を優先した考え方でアプローチしていかなくてはならないことを学びました。

※『事例性』とは

業務上何が問題になって困っているか。

(例) 遅刻や欠席が多い、ミスが多い。社内外でトラブルが多い など

【ウインドスタッフより】

今回は、基礎編と実践編の2コースで研修を実施いたしました。基礎編では、認知特性の理解と具体的な支援について作業場面での支援のポイント、実践編では、面談技術の留意点として心理的安全性の確保など具体的な支援の技術を学ぶことが出来ました。

講師の方からは、「意欲的な参加者の方ばかりで感心しました。」との感想をいただき、今後の発達障がいの方への支援に活用できる有意義な研修になりました。

ご参加いただきました支援者の皆様、ありがとうございました。

